

数学オリンピック財団から 12

財団理事長 小林一章

国内の予選、本選、春の合宿も終わり、アジア太平洋数学オリンピック (APMO)、国際数学オリンピック (IMO)、中国女子数学オリンピック (CGMO)、国際数学競技会 (IMC) の日本代表も決定しました。

昨年は CGMO に初参加しましたが、今年は IMC にも初参加の予定です。これは小学上級生対象の Key Stage II と中学生以下対象の Key Stage III の 2 種類があり、各国で各々 2 チームずつ代表を送れますが、数オリ財団は今年は Key Stage III に 1 チームを送ることにしました。

今年の予選応募者が JMO は 2854 名で昨年に比べ 646 名増、JJMO は 1723 名で昨年に比べ 216 名増で、特に JMO は近年にない受験者増となりました。少しずつ知名度が上がって来たのかと喜んでいきます。予選を通過して本選を受験したのが JMO では 102 名、JJMO では 80 名でした。この中から春の合宿に 22 名が参加して IMO 日本代表をかけてコンテストが行われ、日本代表 6 名が決まりました。その他に APMO 日本代表、CGMO 日本代表、IMC 日本代表も以下のように決まりました。

●APMO 日本代表：初めて女子が国内最優秀者になりました。

葛西 祐美	東京都立国立高等学校	2 年 (国内最優秀者)
峰岸 龍	静岡県立清水東高等学校	3 年
清水 元喜	灘高等学校	3 年
吉田 健祐	筑波大学附属駒場高等学校	3 年
村井 翔悟	開成高等学校	2 年
北村 拓真	灘高等学校	2 年
小松 大樹	栄光学園高等学校	2 年
笠浦 一海	開成高等学校	2 年
三谷 庸	灘高等学校	1 年
新家 健太	白陵高等学校	3 年

(学年は 2012 年 3 月時点)

●IMO アルゼンチン大会日本代表：今年は残念ながら高校 2 年生から日本代表者が出ませんでした。

林 興養	静岡県立浜松北高等学校	3 年
北村 拓真	灘高等学校	3 年
小松 大樹	栄光学園高等学校	3 年
宮本 大輔	灘高等学校	1 年
村井 翔悟	開成高等学校	3 年
野村 健斗	筑波大学附属駒場高等学校	1 年

(学年は 2012 年 4 月現在)

●CGMO 日本代表

葛西 祐美	東京都立国立高等学校	3 年
頼 友梨恵	筑波大学附属高等学校	3 年
桜庭 遥	女子学院高等学校	3 年
山下真由子	東京都立新宿山吹高等学校	2 年

(学年は 2012 年 4 月現在)

●台湾 IMC (TAIMC) 日本代表：IMC は台湾国内の都市対抗とインドネシア、フィリッピン両国の国内都市対抗を母体とし、それが合体して同時に広く参加を呼び掛け国際大会になったようです。

大中 亮磨	筑波大学附属駒場中学校	3 年
佐伯 祐紀	開成中学校	3 年
下村 識	灘中学校	3 年
杉本悠太郎	筑波大学附属駒場中学校	3 年

(学年は 2012 年 4 月現在)

昨年までは日本代表が決まると 5 回の通信添削と開催国への出発直前に一泊二日の合宿が行われていましたが、今年はゴールデンウィークでの二泊三日、5 月末、6 月末に行われる一泊二日と合計 3 回の強化合宿を設定しました。これは昨年の成績と認知度が上がったことへの対応と考えています。最近、IMO で今まで上位にいた中国、韓国、日本以外のアジア勢の実力アップが顕著で、当、数オリ財団も今まで以上に努力する必要があるようです。